学校番号	1301

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	舞台表現Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自信をもって、発表の場や面接などで発言できるよう、Ｉで学んだ基本的な発声法、姿勢、滑舌方法を活かし、人に伝わりやすい話し方や表現を身につけていきましょう。卒業するころには、自分にとても自信が持てると思います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
自分の考えていることを伝えるための話し方や、人に伝えるための言葉づかいを身につける
【思考力、判断力、表現力等】
自分の伝えたいことをまとめる力と TPO を考えて表現を工夫している
【学びに向かう力、人間性等】
積極的に授業に参加し、技術を身につけるために努力している

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・Ｉで身につけた発声方法や姿勢をもとに、発表の規模に合わせた発声で話すことができる ・発表の場面や内容に合った言葉、速さで話すことができる。 ・聞き手に伝わるように話すことができる。	・場面や内容に合わせて、喜怒哀楽などの感情を的確に表現することができる。 ・話の全体の流れを把握し、他の登場人物との関係性を判断し表現することができる。 ・感情が相手に伝わるように工夫し、表現している。	・それぞれの単元に積極的に取り組んでいる。 ・周りと協力し、作品を仕上げる努力をしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
ステージ1	TPOに合わせた発声	・会場の規模や人数を考えた声量を学ぶ ・マイクを使用した場合の発声を考える ・効果的な声の緩急を考える	a:会場の大きさやマイクを使用した場合の声の響き方を理解している b:それぞれに合わせた発声を行っている c:自分で考えた方法を積極的に生かしている	プリント 実技	プリント 実技	プリント 取り組み
	TPOに合わせた表現	・「伝わる」ための表現を考える ・面接、講演など目的に合った言葉や表現方法について考える	a:目的に合った発声方法を理解している b:目的に合った話し方や表現方法で話している c:積極的に考え実行している	プリント 実技	プリント 実技	プリント 取り組み
ステージ2	様々なジャンルの舞台芸術について学ぶ	・大衆演劇と歌舞伎の共通点相違点を知る ・演劇とミュージカルの相違点を知る ・舞台にはどの様な種類があるのかを知る	a:それぞれの舞台についての特徴や歴史的背景などを理解している b:それぞれの舞台の表現方法を理解し、伝えることができる。 c:積極的に舞台を鑑賞し、生かそうとしている。	プリント 資料提出	プリント 発表	プリント 資料提出
ステージ3	プレゼンテーション	選択者全員で決めたテーマについて発表する ・プレゼン資料を作る ・発表する	a:教室の規模に合わせた発声や滑舌で、発表できている b:魅力が伝わるように抑揚をつけたり、表現できている c:プレゼンテーターとして、積極的に参加している	プレゼン 資料提出 発表	発表	プレゼン 資料提出 発表
	劇場で鑑賞する	二年間の集大成として実際に劇場で鑑賞する	a:プロの発声や滑舌について、自分なりの分析ができている b:どのように感情を表現しているか感じ、自分の言葉で説明できる。 c:積極的に鑑賞している。	レポート	レポート	観劇 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度